

生活科・生活単元学習

単元について

(単元名) 「科学遊び(ゴム)」

- (ねらい)
- ・ 輪ゴムを引っ張って伸ばし、フックにかけて弦を張る。
 - ・ 輪ゴムの弦をつまんだりはじいたりして、弾む様子や音を楽しむ。



ゴムが伸びたり縮んだりする様子に気付く。

単元について

(単元名) 「科学遊び(電気)」

- (ねらい)
- ・ 手回し発電機を使って電気がつくことを知る。
 - ・ 手回し発電機を使ってライトを点け、プラネタリウムを見る。



手回し発電機を回しながら光が点いていることを確認し、天井に映った光を楽しむ。

単元について

(単元名) 「人のからだ～食べたものをどうなるの?～」

(ねらい) ・食べたものが体の中(おなか)を通して、うんちになることに気付く。



すけるくん

食べ物を入れたカプセルをすけるくんの口から食べさせ、体の中の透明な通り道を通していく様子を見る。

児童が親しみをもちやすいよう、等身大にした。

ゆっくり転がるようにモールをつけた。

単元について

(単元名) 「日本地図カルタ」

(ねらい) ・日本の都道府県名に親しむ。

・各都道府県の特徴を知る。(について興味をもって学習する)

・いろいろな地方の都道府県名を知り、特徴を知る。



とうきやうディズニーランドは、きやだいパーク。なりたこくさいくこうもある
ちばけん

かまぐらのだいぶつがゆうめい。よこはまちゆうかがいのある
かながわけん

遊びながら都道府県の名前や、その都道府県の特徴について覚えていけるように、カルタを作った。

都道府県の特徴について、いろいろな面があるが、子ども達に分かりやすく覚えやすくなるように2点にしぼった。

絵を取り入れたり、県名をひらがなのみにしたりすることにより、子ども達の実態に合わせられるようにした。

単元について

(単元名) 「天気・雲」

- (ねらい)
- ・雲の量と天気と関係があることに気付く。
 - ・わたで雲を作る活動に興味・関心をもって取り組む。
 - ・雲の名前に興味・関心をもつ。



天気の晴れ、くもり、雨に合わせて、雲の写真を見ながら、わたで雲を作る。(入道雲、ひつじ雲、きり雲、すじ雲、わた雲)
本物の雲には触れられないので、わた雲を作ることにより、雲への興味を引き出すようにした。(本物の雲のできる仕組みも合わせて指導した。)

単元について

(単元名) 「食べ物がうちになるまで」

- (ねらい)
- ・口から入った食べ物が体の中の消化器を通過してうちになるまでの道筋を知る。
 - ・体の中には消化して栄養をすいとるいろいろな器官があることを知る。



元気くん

- ・子どもの体の大きさと同じ大きさの元気くんを作り、体の中を開いて消化器が取り出せるようにして、自分の体にあてはめてわかりやすいようにした。
- ・胃、小腸、大腸などできるだけ実物の長さにした。
- ・口の中から食べ物を入れると、いろいろな消化器を通過して(袋状の中を通過して)大腸の端からうちになって出るまで動かしていけるようにした。

単元について

(単元名) 「春を感じよう(種まき、苗植え)」

- (ねらい)
- ・ 取っ手を引っ張ることが分かり、力を入れようとしたり、引っ張ったりすることができる。
 - ・ 土を鉢に入れることができる。



- ・ 茶色のヒモを教師が持ち、(どこかみ引っかけてもよい) 児童が操作しやすい位置に提示する。
- ・ リングを引っ張りフタを開け、鉢に土が入るようにする。
- ・ 土が入っていることやなくなっていく様子が見やすいように透明の容器を使用した。
- ・ 土が穴からスムーズに出るように、フタの底に傾斜をつけた。

単元について

(単元名) 「春を感じよう(水やり)」

- (ねらい)
- ・ 自分にできること(スイッチを押すこと)で、水やりを経験する。



- ・ スイッチを押すことで水が出る仕組みになっている。
- ・ ジョーロの位置が低いと、水が掬がらないことがあるので、台の上などに置く。

単元について

(単元名) 「スイートポテトを作ろう」

(ねらい)

- ・収穫したさつまいもを調理し、味わう。
- ・自分の役割や手順を理解し、自分から取り組もうとする。



3つのタッパ（プラスチック容器）に材料を入れ、材料の名称を確認しながら、ミキサーに材料を入れる。自分でミキサーのスイッチを押すことができるように、スイッチの部分に板をつけた（右）。